

令和6年3月11日
中部地方整備局
木曾川下流河川事務所

仮想空間で堤防越水を防ぐための訓練を実施

～大型土のう設置による国道1号線の通行止めを想定して～

木曾三川下流部緊急対策検討会は、3月14日（木）13:30より、伊勢湾台風規模の高潮発生時を想定した、尾張大橋緊急対策としての大型土のう設置訓練を、仮想空間上で実施します。

海拔0メートル地帯が広がる木曾三川下流部では、尾張大橋・伊勢大橋両岸において、現況堤防高が高潮に対する必要堤防高より低いため、高潮が発生する恐れがある場合には、橋の両岸に大型土のうを設置し、越水を防止することとしています。このたび、この大型土のう設置の訓練について、国道1号等の交通への影響を与えず、かつ「大型土のう設置・撤去」及び「通行止め」などの緊急対策を実環境に近い環境で実施し、課題を抽出するとともに、緊急時の円滑な対応を目的として、仮想空間上において訓練を実施します。

1. 日 時 令和6年3月14日（木）13時30分～17時00分
2. 場 所 国土交通省 中部地方整備局 木曾川下流河川事務所 3階 災害対策室
3. 参加者 木曾三川下流部緊急対策検討会
（弥富市、桑名市、木曾岬町、桑名建設事務所、大垣土木事務所、桑名警察署、名古屋国道事務所、三重河川国道事務所、木曾川下流河川事務所）
4. その他 取材をご希望される報道関係者の方は3月13日（水）15時までに 問合せ先へご連絡ください。
5. 配布先 桑名市政記者クラブ、大垣市政経済記者クラブ、
中部地方整備局記者クラブ

（問合せ先）

中部地方整備局 木曾川下流河川事務所

副所長 齊木 雅邦

課長 藤田 純治

TEL 0594-24-5717 FAX 0594-21-4061

洪水・高潮を防ぐために大型土のう設置が必要な個所について、現地状況をバーチャル空間で再現し、さまざまなケースを想定した訓練を、道路の通行止めなしで可能とする。

バーチャル空間において、
尾張大橋周辺を忠実に再現。



バーチャル空間内で重機を自由に操作し、
実環境に近い訓練が可能。

